

記者発表（資料配付）				
月/日 (曜日)	担当部局課名	電話	発表者名 (担当)	その他 配布先
3/5 (金)	県土整備部土木局技術企画課	内線 4404 078-362-9282	土木局長兼技術企画課長 杉浦 正彦 (県土政策班長 中田 和秀)	-

i-Construction 大賞を受賞しました
 ~ ICT を活用した建設工事の普及・拡大の取組みが評価されました ~

兵庫県が平成 29 年度から取り組んでいる ICT 活用工事の普及・拡大に向けた取り組みが評価され、国土交通省の i-Construction 大賞（優秀賞）を受賞しました。
 (国土交通省 HP https://www.mlit.go.jp/report/press/kanbo08_hh_000778.html)

1 評価のポイント

① 豊富な実績（資料 1）

対象工種を含む全工事を ICT 活用工事として発注したことにより、確実に実施件数の拡大につながった。発注件数は H30 年度 83 件に対し、R1 年度は 268 件(3.2 倍)。実施件数も H30 年度 41 件に対し、R1 年度 128 件(3.1 倍)に増加した。

② 柔軟な制度構築

受注者希望型では、ICT を活用する施工プロセス*を受注者が選択できる制度を構築。これにより、中小規模工事が多い自治体工事で、ICT の経験がない受注者が、少しずつ ICT を取り入れていく機会が提供できるように配慮。

※ 施工プロセス：① 3次元起工測量 ② 3次元設計データの作成
 ③ I C T建機による施工 ④ 3次元出来形管理資料の作成
 ⑤出来形確認及び検査 ⑥納品

①	UAV写真測量 レーザスキャナ を活用した 3D現況測量	②	発注図書(図面)から 3D設計データ を作成する
③	3Dマシンコントロール 3Dマシンガイダンス を利用した施工	④ ⑤	UAV写真測量 レーザスキャナ を活用した 出来形管理計測

③ 積極的な普及・啓発（資料 2）

R 1 年度は ICT 活用工事研修会 8 回、3次元データ作成研修会 10 回、ICT 活用工事体験会 2 回を実施するなど、ICT 活用工事の普及拡大と ICT 建設技術者の育成に積極的に取り組んだ。

④ 新規工種の先行実施（資料 3）

R 1 年度に対象工種ではない ICT 舗装工(修繕)を先行的にモデル工事として実施し、従来施工と比較して人工数 35 人日(42.7%)の縮減効果を確認、ICT 活用による生産性向上の可能性を明確化。

【次ページに続く】

【参考】

1 i-Construction 大賞とは

国土交通省は、建設現場を魅力ある現場に変えていくため、ICT 等の活用により建設現場の生産性向上を図る「i-Construction」を推進しています。

「i-Construction」の普及・拡大の一環として、平成 29 年度から全国的に優れた取り組みを表彰している。今年度は、全国で 26 団体が受賞しました。

2 参考資料

■資料 1 : ICT 活用工事の実施件数

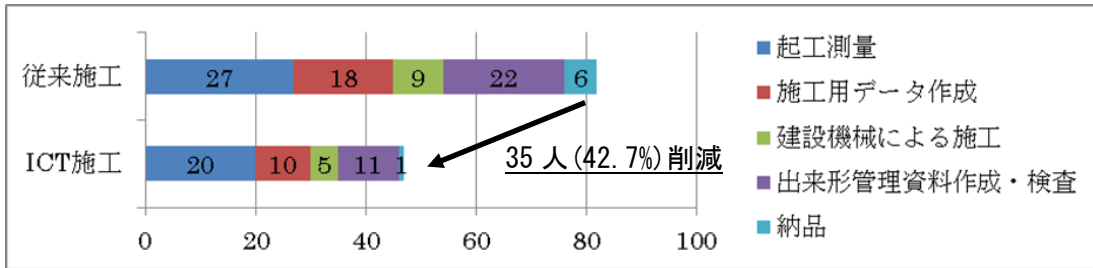
	H 2 9	H 3 0	R1
ICT土工	9件 (69件)	15件 (54件)	92件 (204件)
ICT土工(河川堆積土砂撤去)	—	25件 (25件)	20件 (20件)
ICT舗装工(路盤)	—	1件 (4件)	13件 (39件)
ICT舗装工(修繕)	—	—	2件 (2件)
ICT河川浚渫工	—	0件 (0件)	1件 (2件)
ICT地盤改良工	—	—	0件 (3件)
合 計	9件 (69件)	41件 (83件)	128件 (270件)

3.1 倍
3.2 倍

■資料 2 : 研修会等の実施状況

内容	参加者数・実施回数			
	H 3 0		R1	
ICT活用工事研修会	484人	21回	163人	8回
3次元データ作成研修会	73	6回	280人	10回
ICT活用工事体験会			43人	2回
現場見学会(舗装修繕)			21人	2回

■資料 3 : ICT 舗装工(修繕)の効果検証 (のべ作業工数(人・日))



■その他 : ICT 活用工事発注区分 (R2.7 時点)

H29.4 より順次対象工種を拡大

工 種	導入時期	発注者指定型	受注者希望型
ICT土工	H29.4	・土工量5千m ³ 以上	・対象工種を含む工事全て
ICT土工(河川堆積土砂撤去)	H30.11	・設計金額2千万円以上 ・1箇所あたり土工量1千m ³ 以上	—
ICT舗装工(路盤)	H30.8	・発注機関が選定 ・舗装面積2千m ² 以上	・対象工種を含む工事全て
ICT舗装工(修繕)	R2.7	—	・対象工種を含む工事全て
ICT河川浚渫工	H30.8	・設計金額5千万円以上 ・浚渫土量2千m ³ 以上	・対象工種を含む工事全て
ICT地盤改良工	R1.9	—	・対象工種を含む工事全て
ICT法面工	R2.7	—	・対象工種を含む工事全て